



## かわいい子には旅をさせよ

園長 河原 宏子

先日の『緑フェスティバル』では、子供たちが、友だちと力を合わせて『緑フェスティバル』の準備をしてきました。お家の方に来ていただき、子供たちはとても嬉しかったようです。保護者の皆様の参加が、子供たちにとって何よりの励ましになります。誠にありがとうございました。

さて、ある教育紙の原稿の中で、次のように述べられた文章を読みました。

『「かわいい子には旅をさせよ」と考える親はどれほどいるだろう。また、「若い内の苦労は買ってでもせよ」と思う親はどれほどいるだろう。抜け道はよくないが、近道を探す若者がいるのは、今に始まったことではない。かつては、それを戒めるのが大人の役目であった。しかし、今は、簡便に快適にそして少しでも早く、というのが親子共通の願いになってさえるのではないかと感じる』

苦労や面倒なことは避け、手っ取り早く簡単な方法があれば、少しお金がかかっても手に入れる方がよいと考える人もいます。

緑フェスティバルでは、子供たちが時間をかけて作り出した物ばかりです。そこには、決して簡便に快適に少しでも早くという感覚よりも、みんなで時間と手間をかけ、自分はもちろん、友達や見に来てくれたお客さんが楽しんでくれるように、という気持ちが入っていたかと思えます。

教育には、0～18歳の学びの連続性と発達の段階を踏まえた育みたい資質・能力という3本の柱があります。3本の柱とは、①**学びに向かう力・人間性等**、②**知識及び技能の基礎**、③**思考力・判断力・表現力の基礎**です。

緑フェスティバルの取組の中で、

①**学びに向かう力・人間性**では、難しいことにも諦めずに根気強く取り組む姿勢

②**知識及び技能の基礎**では、空き箱をつなげ立体にする、セロテープやステープラーの使い方を獲得する

③**思考力・判断力・表現力の基礎**では、みんなで考えを出し合う、意見を一つにまとめ形にする、そして、葛藤や喜び、達成感、充実感を味わう

という経験を積み重ねてきました。幼児教育において育みたい力が培われ、一つ一つ発達の段階に応じて着実な一歩を踏んでいます。今後も、このような地道な体験を積み重ねてまいります。

早いもので、今年も残すところ一か月となりました。ご家族一緒になって、今年一年を振り返り、みんなで頑張ったこと、成長したことなどを改めて確かめ合って、来る来年への希望につなげていただければと思います。

この1年間、保護者の皆様には、緑幼稚園の教育に深いご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。来年もよろしくお祈りいたします。よいお年をお迎えください。

## 今月のねらい

### <年少ゆり組>

- ・遊びや生活の中で、自分の思いやイメージを出しながら、友達とのかかわりをじっくりと楽しむ。
- ・友達の言動に興味をもったり、刺激を受けたりしながら、学級のみんなどと一緒にする活動を楽しむ。

### <年長すみれ組>

- ・友達と考えを出し合ったり、受け入れ合ったりしながら共通の目的を意識し、つながりを深めて遊ぶことを楽しむ。
- ・冬の自然や行事に興味・関心をもって楽しみ、季節の移り変わりに気付いたり、年の暮れの様子を感じたりする。

園だよりや幼稚園での最近の様子をホームページにて配信しています。ご覧ください。



緑幼稚園 HP  
QRコード